

令和4年度

公益社団法人日本技術士会東北本部 応用理学部会

年 次 大 会 資 料

日時：令和4年5月13日（金） 14時00分～14時50分

場所：日立システムズホール仙台 研修室2

仙台市青葉区旭ヶ丘三丁目27番5号

年 次 大 会 次 第

1. 年次大会議事 14時～14時50分

(1) 開会宣言

(2) 報告

①令和3年度活動報告

②令和3年度会計報告

③監査報告

④令和3～4年度役員人事

⑤令和4年度活動計画（案）

⑥令和4年度会計予算（案）

⑦その他

(3) 閉会宣言

2. 特別講演 15時～17時 CPD 2h予定

演 題：頻発する豪雨災害への対策と課題

講 師：齋藤徳美氏（岩手大学名誉教授）

1. 令和3年度活動報告

①令和3年度応用理学部会年次大会および特別講演

年次大会 コロナウイルス感染拡大状況を考慮し、対面開催を中止。

HPにて年次大会資料開示

開示日 令和3年5月25日(火)

特別講演 同じく中止

②令和3年度研修会 参加者18名、意見交換会中止

テーマ：「人新世を生きる～(完新世は終わった?)」

講師：吉川 謙造氏 (株式会社ダイワ技術サービス技術顧問)

日時：令和3年9月17日(金) 15時～17時

場所：エルパーク仙台 セミナーホール1

参加費：無料

③令和3年度現地見学会 コロナウイルス感染拡大状況を考慮し、中止

④役員会

第1回：令和3年4月23日 (WEB会議：Microsoft Teams)

第2回：令和3年5月21日 (//)

第3回：令和3年6月18日 (仙台市戦災復興記念館)

第4回：令和3年8月27日 (WEB会議：Microsoft Teams)

第5回：令和3年9月17日 (エルパーク仙台 セミナーホール1)

第6回：令和3年10月22日 (日立システムズホール仙台)

第7回：令和3年12月3日 (//)

第8回：令和4年2月18日 (WEB会議：Microsoft Teams)

計8回、太字は技術サロン・研修会開催日)

⑤技術サロン

○第1回 令和3年6月18日(金) 18:00～19:30 参加者：13名

話題提供者：渡邊平太郎氏(盛岡広域振興局土木部)

演題：「赤色立体地図を用いた地すべり地形判読の例など」

○第2回 令和3年10月22日(金) 18:00～20:30 参加者：9名

話題提供者：守屋 資郎氏(A.T.S.(株))

演題：「災害列島における森林の健康状態」

話題提供者：菊地 真氏(東北ボーリング(株))

演 題：「試験孔を用いた地下海水調査事例」

○第3回 令和3年12月3日(金) 18:00~20:30 参加者：10名

話題提供者：二木 茂樹氏(株式会社復建技術コンサルタント)

演 題：「トレッキングで眺めた地形地質」

話題提供者：佐藤 壮氏(日本工営株式会社)

演 題：「水文調査と地下水解析の事例紹介」

2. 令和3年度会計報告

応用理学部会 令和3年度 会計決算(案)

	決 算	令和3年度予算	対 比
総収入	138,703	443,103	△ 304,400
総支出	60,224	258,000	△ 197,776
繰越金	78,479	185,103	△ 106,624

【収入の部】

科 目	決 算	令和3年度予算	対 比	摘 要	
前度繰越金	113,103	113,103	0		
本部交付金	0	130,000	130,000	3月申請のため年度内交付無し	
寄附金	0	0	0		
小 計	113,103	243,103	△ 130,000		
事業収入	年次大会	0	0	0	中止
	見学会	0	0	0	中止
	技術サロン	16,000	60,000	△ 44,000	1回計8名(@2,000)
	研修会		135,000	△ 135,000	18名参加(意見交換会無し)
	地震防災WG活動	0	5,000	△ 5,000	
雑収入	雑 収 入	9,600	0	9,600	年次大会会場費返金
小 計	25,600	200,000	△ 174,400		
総収入	138,703	443,103	△ 304,400		

【支出の部】

科 目	決 算	令和3年度予算	対 比	摘 要	
事業費	年次大会	7,140	10,000	△ 2,860	レターパック、葉書
	見学会	0	0	0	
	技術サロン	30,860	78,000	△ 47,140	3回開催、会場費、講師お茶代
	研修会	15,780	130,000	△ 114,220	9/11開催、謝礼、会場費
	地震防災WG活動	0	5,000	△ 5,000	
	小 計	53,780	223,000	△ 169,220	
管理費	会 議 費	370	10,000	△ 9,630	付帯設備費
	通 信 費	6,074	15,000	△ 8,926	サーバ・ドメイン費
	事 務 雑 費	0	10,000	△ 10,000	
	予 備 費	0	0	0	
	そ の 他	0	0	0	
	小 計	6,444	35,000	△ 28,556	
総支出	60,224	258,000	△ 197,776		

決算、予算対比

決算-令和3年度予算

マイナスは△で表示

3. 監査報告

監 査 報 告 書

令和3年度の事業および会計を、帳簿ならびに証拠書類により監査した結果、
相違なく、適正に処理されていることを確認しました。

令和 4 月 4 月 21 日

公益社団法人日本技術士会東北本部 応用理学部会

監事 新沼正彦 

4. 令和 3-4 年度 応用理学部会役員名簿

役職	氏名	所属	備考
顧問	佐藤一夫	岩倉測量設計(株)	
顧問	谷藤允彦	新協地水(株)	

役職	氏名	所属	備考
部会長	黒墨秀行	(株)総合土木コンサルタンツ	
副部会長	尾崎裕司	日本工営(株)	
副部会長	押見和義	(株)復建技術コンサルタント	
代表幹事	森 信博	土木地質(株)	総務
幹事	川口通世	(株)川口技術士事務所	福島
幹事	菊地 真	東北ボーリング(株)	広報(主)
幹事	桜田裕之	(株)自然科学調査事務所	秋田
幹事	伊藤靖雄	(株)ダイヤコンサルタント	広報(副)
幹事	今野隆彦	今野技術士事務所	
監事	新沼正彦	(株)測地コンサルシステム	幹事兼任 (総務)

5 . 令和 4 年度 活動計画 (案)

① 令和 4 年度 年次大会および特別講演

日 時 : 令和 4 年 5 月 13 日 (金) 14 時 00 分～17 時 00 分

場 所 : 日立システムズホール仙台 研修室 2

仙台市青葉区旭ヶ丘三丁目 27 番 5 号

○年次大会 14 時～14 時 50 分

○特別講演 15 時～17 時

演 題 : 頻発する豪雨災害への対策と課題

講 師 : 齋藤徳美氏 (岩手大学名誉教授)

② 令和 4 年度研修会

テーマ : 超臨界地熱

日 時 : 令和 4 年 7 月 22 日 (金)

場 所 : 日立システムズホール仙台 研修室 2

演 題 : 超臨界地熱資源の地質モデルと探査

講 師 : 土屋 範芳氏 (東北大学大学院環境科学研究科 教授)

意見交換会 : 開催予定

③ 令和 4 年度現地見学会

日 時 : 令和 4 年 9 月 (木曜・金曜 1 泊 2 日予定)

テーマ : 井戸沢断層、災害現場視察

場 所 : 福島県浜通り

案内者 : 齋藤 勝氏

新田 邦弘氏 ((株)地質基礎)

④ 役員会

開催予定: 4 月 22 日 (金)、5 月 13 日 (金)、6 月 10 日 (金)、8 月 26 日 (金)、

10 月 21 日 (金)、12 月 2 日 (金)、令和 5 年 2 月 3 日 (金)

(太字は技術サロン開催予定日)

⑤ 地震防災 WG

特定非営利活動法人防災・減災サポートセンターと協力して活動

⑥技術サロン：4回開催予定

第1回 令和4年6月10日(金) 18:00～20:30

会場：仙台市福祉プラザ 11階 第2研修室

第2回 令和4年8月26日(金) 18:00～20:30

会場：日立システムズホール仙台 研修室2

第3回 令和4年10月21日(金) 18:00～20:30

会場：日立システムズホール仙台 研修室2

第4回 令和4年12月2日(金) 18:00～20:30

会場：日立システムズホール仙台 研修室2 (予定)

6. 令和4年度 会計予算 (案)

応用理学部会 令和4年度 会計予算(案)

	令和4年度予算	令和3年度決算	対比
総収入	772,673	138,703	633,970
総支出	605,000	60,224	544,776
繰越金	167,673	78,479	89,194

【収入の部】

科目	令和4年度予算	令和3年度決算	対比	摘 要	
前年度繰越金	78,479	113,103	△ 34,624		
本部交付金	199,194	0	199,194	前年度分49,194含む	
寄附金	0	0	0		
小計	277,673	113,103	164,570		
事業収入	年次大会	0	0	0	意見交換会20名
	見学会	300,000	0	300,000	
	技術サロン	60,000	16,000	44,000	4回開催、会費1000円
	研修会	135,000		135,000	35名、意見交換会20名
地震防災WG活動	0	0	0		
雑収入	雑収入	0	9,600	△ 9,600	
小計	495,000	25,600	469,400		
総収入	772,673	138,703	633,970		

【支出の部】

科目	令和4年度予算	令和3年度決算	対比	摘 要	
事業費	年次大会	10,000	7,140	2,860	案内葉書ほか
	見学会	330,000	0	330,000	中止予定
	技術サロン	90,000	30,860	59,140	4回開催、会場費ほか
	研修会	140,000	15,780	124,220	会場費、意見交換会
	地震防災WG活動	0	0	0	
小計	570,000	53,780	516,220		
管理費	会議費	10,000	370	9,630	役員会会場費
	通信費	15,000	6,074	8,926	HP管理費、郵送料ほか
	事務雑費	10,000	0	10,000	
	予備費	0	0	0	
	その他		0	0	
小計	35,000	6,444	28,556		
総支出	605,000	60,224	544,776		

対前年決算

令和4年度予算-令和3年度決算

マイナスは△で表示

公益社団法人日本技術士会 東北本部 応用理学部会 規約

平成 15 年 4 月 11 日制定

平成 17 年 6 月 10 日改正

平成 18 年 5 月 12 日改正

平成 20 年 5 月 8 日改正

平成 25 年 5 月 16 日改正

平成 26 年 5 月 9 日改正

第 1 条 名 称

本部会は「公益社団法人 日本技術士会(以下、技術士会)東北本部 応用理学部会」(略称「東北 応用理学部会」と称する。

第 2 条 目 的

本部会は、

- 1) 専門技術の観点から技術士会に協力する。
- 2) 技術士の職業倫理の確立と地位の向上を図る。
- 3) 部会員の技術の向上を図る。
- 4) 部会員相互の親睦を図る。
- 5) 専門技術を通し地域社会へ貢献する。

こと等を目的とする。

第 3 条 部 会 員

部会は、応用理学部門に合格した技術士会会員および準会員をもって構成する。

第 4 条 役 員

本部会は、上記目的を達成するため、次の各号に掲げる役員を置き円滑な部会の運営にあたる。

部会長	1 名
副部会長	2 名
幹事	若干名
監事	1 名

本部会は顧問を置くことができる。顧問は、本部会活動の活発化および円滑な運営を図るため、第 7 条で規定する会議に出席し、意見を述べることができる。

役員任期は 1 期 2 年とし、再任を妨げない。ただし、部会活動活性化のため、部会長は最長 2 期を限度とする。

第 5 条 役員を選任

1. 部会長は、部会年次大会において選任し、本部長に報告する。
2. 幹事は、部会長が部会員の中から委嘱し、年次大会に報告する。
3. 顧問は、役員会が推薦し、年次大会に報告する。

4. 監事は部会長が推薦し、年次大会で承認を得る。

第6条 役員の仕事

1. 部会長は、部会を代表し、全般を総括し、必要に応じて日本技術士会東北本部の役員会で部会に関する意見を述べることができる。
2. 副部会長は、部会長を補佐し部会長に事故があるときは、その仕事を代行する。
3. 幹事は、部会の年次計画案を作成、実行、その他事務事項を担当する（部会員の連絡事項を含む。）
4. 監事は、部会の経理状況及び業務の執行の状況を監査する。更に、役員会に出席して職務に対する意見を述べることができる。

第7条 会議の種類

本部会の会議は、年次大会、役員会とする。

第8条 年次大会

1. 年次大会は定期年次大会及び臨時大会とし部会員をもって構成し、部会長が召集する。
2. 定期年次大会は、原則として本部年次大会前に開催する。
3. 臨時大会は、次の各号に該当する場合に開催する。
 - ①役員会において必要と認めた場合
 - ②部会員の5分の1以上から会議の目的たる事項を示し請求があった場合
 - ③前項の規定により臨時大会を開く請求があったときは、部会長は、速やかに臨時大会を召集しなければならない。
4. 年次大会の議長は部会長が務める。

第9条 年次大会の議事

1. 年次大会においては、この規約に規定するものの他、次の各号に示す事項を報告する。
 - ①前年度活動報告及び決算の承認に関する事項
 - ②年次活動計画及び予算の承認に関する事項
 - ③役員会において年次大会に付議する必要があると認めた事項
2. 年次大会の議事は、出席者の過半数をもって定める。

第10条 規約の変更

本規約の変更は、役員会の3分の2以上の同意を以って発議し、年次大会において出席した部会員の3分の2以上の同意を以って成立する。

第11条 役員会

1. 役員会は構成員の2分の1以上の出席を以って成立し、次の事項を審議する。

2. 役員会の議長は部会長が努める。ただし、都合で部会長の指名により一任された者が会議を推進することができる。
3. 役員会の内容は、その都度議事録を作成する。
4. 役員会に付議する事項は、部会の運営に関することを原則とする。

第12条 部会活動

部会活動は、第2条の目的を達成するため、次の各号に掲げる活動を行う。

1. 本部会並びに他の部会との連携を図り、共通の課題に対する、討議、意見の交換及び行事の共催
2. 国、地方公共団体、民間等の国内の組織団体との技術交流並びに海外の科学技術関係の技術者との交流
3. 科学技術に関する調査並びに文献及び資料の収集
4. 科学技術に関する研修、講演会、見学会等の開催
5. 専門技術により地域に貢献するため地方公共団体等からの相談・依頼があった場合業務を受託し行うことができる。
6. 科学技術に関する情報の交換、新技術の修得及び意見交換等を目的とする行事の開催
7. 部会員相互の親睦を図るための行事の開催
8. 前各号に掲げるものの他、本部会の目的を達成するために必要な活動

第13条 会費等

年会費は当面の間、無料とし、各行事毎に参加費を徴収する。

第14条 事業年度

本部会の事業年度は、毎年4月1日から翌年3月31日とする。